

ふくしま観光復興人材育成事業（浜通り地域（ホープツーリズム）観光商品開発技術研修）業務
公募型プロポーザルに関する質問と回答

令和4年6月8日更新

No.	質問項目	質問内容	回答
1	学生について	16人の学生のチーム編成について「4人ずつ4チーム」などの指定はあるか。自由にこちらで設定しても良いか。	チーム編成について指定はありません。新型コロナウイルス感染拡大防止のために必要な規模を踏まえつつ、研修目的を達成するために効果的な提案をしてください。
2	実施地域について	研修先地域数に指定はあるか。	研修先地域数に指定はありません。
3	移動について	研修先地域での学生・引率職員の移動手段は手配したバスのみか。	研修先地域での移動手段はバス以外でも可能です。
4	移動について	2泊3日の研修プログラムでは、受託事業者も出発からバスに同乗する必要があるか。現地集合でも問題ないか。	添乗員等の受託事業者の同乗については、旅程を安全かつ確実に実施するために必要な提案をすることとし、最低でも全旅程について最低1名は同行するものとします。 現地で対応するスタッフについては、単に旅程管理にとどまらず、委託業務に関して受託者が一貫して即応できる体制を提案してください。
5	「学習の機会」について	「学習の機会」は、受託事業者、講師、学生の全員がオンラインで実施する形でも可能か。	「学習の機会」の実施方法については指定はありません。新型コロナウイルス感染拡大防止のために必要な規模を踏まえつつ、研修目的を達成するために効果的な提案をしてください。
6	「学習の機会」について	「学習の機会」の実施時期・所要時間に希望はあるか。平日の13:00～17:00などの実施になる可能性もあるが、「夏季休暇期間に行ってほしい」などの指定はあるか。	実施時期は7月15日～7月22日、8月17日～9月30日の平日の授業時間内、本研修の前後で最大4回（1時限100分×4回）程度可能です。本研修に向け効果的な時間や内容を提案してください。

7	「学習の機会」について	「仕様書 2 実施内容 (4) のエ」の「特別講話」とは、「学習の機会」とは別で設定すべきか。学習の機会のプログラムの中に「マイクロツーリズム」に関して、その普及拡大に取り組む第一人者からの特別講話を含むこと。※県の風評払拭、浜通りの復興を支援する第一人者」の講義を含んでも良いか。	「学習の機会」のプログラムに講義を含んでも構いません。
8	実施報告書について	「実績報告書 (50 部)」の形式に指定はあるか。Word で作成したものを 50 部印刷して納品する形か。もしくは、パンフレットのようなものに製本する必要があるのか。	実施報告書は、パンフレット形式とし、本事業を広く県民に周知することを目的に、将来的には配布することを考えております。